

《単位互換提供科目詳細（シラバス）》

*科目 No.	2912
---------	------

科目概要記入欄

1. 開設大学	島根県立大学		開催方法	□対面（ ）	
				□オンライン（同時・録画・資料提示）	
				■その他（未定）	
	正式科目名 副題	水産経済政策論		配当年次	3・4
				受入学年	
	学問分野	番号	27	名称	社会科学系 その他
3. 担当教員名	三輪 千年				
4. 単位数	2 単位		5. 開講学期	前期集中	
6. 開講期間 曜日・時間	2022 年 9 月 ※調整中 曜日 : ~ :				
7. 基礎知識の有無	2. 「基礎知識を必要としない科目」				
8. 募集人数	5 人		9. 選考方法	書類選考	
10. 科目内容・ 授業計画	<p>江戸時代(封建制度下)に漁業が農業から「産業」として分離・独立する過程を踏まえ、明治維新以降の資本制度下での漁業の発展過程を国家政策と絡めて考察し、その後の水産業発展を位置づける。歴史的な視点を通して国家の意志と産業政策、その結果としての国民生活を具体的に考察すると共に、「水産経済政策」の基礎的な知識などを学ぶ。その上で、戦後の水産業の近代化、国際化への対応、200 海里時代における漁業・水産業のあり方や、水産業の情報化に向けた産業政策とその実現過程を、グローバルな視点ともに地域経済視点も併せて捉え、水産業の今後のあり方を学生と共に考える。</p> <p>【到達目標】 地域資源を利活用した地域産業としての水産政策を、国や地方自治体が実施する課題として捉え、広く国民的な経済厚生の一環として水産政策を論理的に思考・表現することができる。</p> <p>【授業の内容】 第 1 回 プロローグ、産業としての漁業・水産業 第 2 回 社会の発展と産業-経済政策とは- 第 3 回 水産産業の特性-自立更新制資源を生産対象とした産業特性- 第 4 回 水産経済の意義と特質-食糧産業から食料・食品産業へ- 第 5 回 漁業・水産業をめぐる国際関係 -国連海洋法会議と国際動向- 第 6 回 水産経済政策の歴史的展開 1 -戦前期以前の漁業政策- 第 7 回 水産経済政策の歴史的展開 2 -終戦から戦後復旧の激動期- 第 8 回 水産経済政策の歴史的展開 3 -高度経済成長期以降の展開- 第 9 回 水産経済政策の歴史的展開 4 -200 カイリ時代から今日まで- 第 10 回 経済のグローバル化と水産経済政策 1 -狭まる漁場・資源論争- 第 11 回 経済のグローバル化と水産経済政策 2 -輸出産業への回帰- 第 12 回 地域振興と漏れバケツ理論 第 13 回 これからの海洋産業改革 -ブルーエコノミー- 第 14 回 地域振興で大切なこと -山口県萩市の事例- 第 15 回 エピローグ、全体を通じての総合討論 (*:学生からの疑問や質問・意見を聴く時間を授業の最後に毎回設ける。)</p>				
11. 試験・評価方法	講義では「答え」ではなく、自らの答えを引き出すための「考える力」を身に付ける。講義を“聴く”のではなく、授業に積極的に参加し、一緒に考えてもらう。講義中の質問など授業への参加度と、提出レポート（知っていることを書くのではなく、自分の考えを記述）により成績評価（オリジナリティを重視する）を行う。				
12. 別途負担費用					
13. その他特記事項	<p>参考文献： 「ポイント整理で学ぶ水産経済」 廣吉勝治・佐野雅昭共著（北斗書房）2008.08 「日本漁業の真実」 濱田武士著（ちくま新書）2014.03 「日本人が知らない漁業の大問題」 佐野雅昭著（新潮新書）2015.03 「日本の労働市場開放の現況と課題」 堀口健二・三輪他（筑波書房）2017.11 「資本主義の新しい形」 諸富徹著（岩波書店）2020.01 「東シナ海—漁民たちの国境紛争—」 佐々木貴文（角川新書）2021.12</p>				
14. 社会人受講	科目等履修生（単位付与）として受け入れ		可	否	
	聴講生（単位認定不要）として受け入れ		可	否	

※コロナ禍の影響により、対面授業はオンライン（同時・録画・資料）へ変更になる場合があります。